

特集2

ふくしま駅伝

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 〈ふくしま駅伝〉チームメンバー※敬称略

- 総監督 林 英滋
- 監督 佐藤 彰洋(消防飯舘分署)
- コーチ 荒 高史(いいたて希望の里学園)
- コーチ 永井 努(いいたて希望の里学園)
- 主将 大内 龍太郎(飯舘村社会福祉協議会)
- 8区 大島 輝琉(いいたて希望の里学園8年)
- 9区 齋藤 あおい(西袋中3年)
- 10区 三浦 有矢(いいたて希望の里学園)
- 11区 遠藤 志織(飯舘村役場)
- 12区 細杉 睦輝(IRC)
- 13区 佐藤 彰洋(消防飯舘分署)
- 14区 杉岡 響(いいたて希望の里学園9年)
- 15区 三本松 里奈(いいたて希望の里学園8年)
- 16区 大内 龍太郎(飯舘村社会福祉協議会)
- 補欠 荒 高史(いいたて希望の里学園)
- 補欠 大友 千絵(いいたて希望の里学園)
- 補欠 佐藤 賢二(JAふくしま未来)
- 補欠 大内 匡泰(菊池製作所)

ランナーの誇り、揺るぎない向上心
チームのコメントから

8区・大島選手「今の力を出し切ることができた」 9区・齋藤選手「3年間走らせていただき貴重な経験になった」 10区・三浦選手「皆さんが心の支えになり自己ベストを出すことができた」 11区・遠藤選手「村のために選手として走りたいと思ひ練習してきた成果が目標達成につながった」 12区・細杉選手「来年もこのチームで頑張りたい」 13区・佐藤監督「皆さんの協力に感謝。立けるのは一生懸命取り組んだ証」 14区・杉岡選手「目標を大幅に更新し、感動を分かち合えてうれしい」 15区・三本松選手「楽しく走ることができた。来年も先輩を見習って頑張りたい」 16区・大内主将「思うような結果が出せず今までで一番悔しいレースだった。悔しさを糧に原点に戻って頑張りたい」



熱い想いが伝わる力走。感動をありがとう!

11月19日、ふくしま駅伝(第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)が、県縦断駅伝競走大会)が、「しらかわカタルススポーツパーク(白河市総合運動公園)陸上競技場」をスタート、福島県庁前をゴールに開催されました。

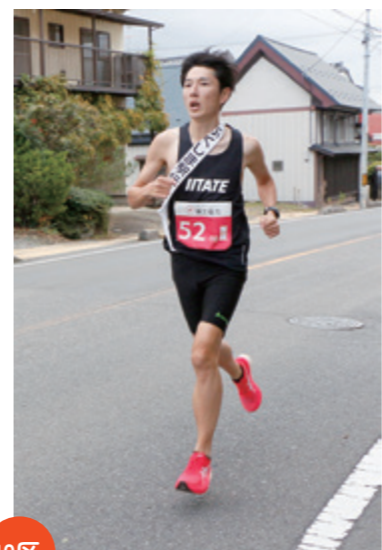
飯舘村チームは、郡山市内の第8区から、後半の9区間にエントリーしました。チームとしては順位がつかないオープン参加となりましたが、飯舘村チームとして、第1回大会から35回連続の出場を果たし、一丸となって伝統のタスキをつなぎました。

大会前のインタビューで「飯舘村の『走る文化』を大切にしたい。現在の環境にあっても、選手には楽しんで走ってほしい」と話していた佐藤彰洋監督。解団式では「オープン参加はぎりぎりまで悩みました。何が正解かは今でも分かりませんが、チームの頑張りに救われました」と振り返り、「戦えるチーム、勝てるチーム、飯舘村を背負うことに価値を見出せるチームにしたい」とつないだタスキの未来を語りました。

「来年も走りたい」「このチームに参加したい」と多くの選手が語る姿からも、飯舘村チームの団結力や想いの深さを感じることができました。素晴らしいチームです。

今大会に向けては、一人ひとりが目標を持ち、地道な練習に取り組みました。また、村内にいるメンバーは、時間を工面して「いいたてスポーツ公園」に集まり、週2回のチーム練習も継続しました。練習を重ねる走力を上げて臨んだ大会。当日は風が吹く中でのレースとなりましたが、全選手が強い気持ちで前向きに、快走を繰り広げました。

テレビやラジオ、YouTubeなどの実況も、飯舘村の想いに触れ、たくさんの方の応援を送ってくれました。飯舘村の『走る文化』は確かな輝きを放っています。



10区 三浦有矢 選手



9区 齋藤あおい 選手



8区 大島輝琉 選手
こうりゅう



13区 佐藤彰洋 監督



12区 細杉睦輝 選手
むつき



11区 遠藤志織 選手



16区 大内龍太郎 主将



15区 三本松里奈 選手



14区 杉岡響 選手